

## 地域づくり表彰

ぜんこくじびーるふえすていばるいちのせきじつこういんかい いわてけんいちのせきし  
 全国地ビールフェスティバルー 関実行委員会 (岩手県一関市)

全国各地の地ビールと地元野菜のおつまみで乾杯！  
 「全国地ビールフェスティバル in 一関」

全国地ビールフェスティ  
 バルー関実行委員会

プロジェクト委員長

かんざき りょういち  
 神崎 良一



### 1. 一関市の概要

一関市は、岩手県南部、東北地方の中央に位置し、首都圏からは約450 km、仙台と盛岡の中間地点にあり、面積は岩手県内で第2位、岩手県南、宮城県北の『中東北の拠点都市』として、経済・文化・教育の中心となっています。

宮城、秋田の両県に隣接し、狛鼻溪や厳美溪の名勝地、一関温泉郷などの観光地があり、世界遺産「平泉」や三陸方面への観光拠点ともなっています。

栗駒山(標高1,626m)、室根山(標高894m)などの山々、東北一の大川・北上川など、四季折々に多彩な表情をあらわす豊かな自然に恵まれた地域です。



名勝「厳美溪」・日本百景「狛鼻溪」

### 2. 活動開始の背景・経緯

一関市は、北上川をはじめとした河川の他、湧き水も多く、いにしえより清らかで豊富な水の恩恵を受けており、酒類の製造が盛んな地域であり、市内にもブルワリーが存在していました。

そのような地域の特性もあって、平成9年度に岩手県南広域振興局事業として、平泉町観自在王院跡で平泉町と一関市が協力して開催したことが当イベントの始まり。

平成10年度以降は、一関市観光協会が事務局となり、各地に点在する

草創期の地ビールの普及を図り、関連産業の発展と地域振興及び活性化を目的に官民一体となった組織体制を構築して、イベントを継続的に開催してきました。



第6回(平成15年度)のポスター  
 (ブルワリーは39社)



第20回(平成29年度)のポスター  
 (ブルワリーは100社)

### 3. 活動内容

「全国地ビールフェスティバル in 一関」では、市内事業者が一関地域で生産されている農産物を使用した料理を提供するなど、イベントを通して地域の特産品をPRし地域の

活性化に貢献する活動を行っています。

市外からのおつまみ出店や、地ビール以外のお酒での出店要望の問い合わせを多数いただきますが、一関の地ビールフェスティバルのポリシーとして、「おつまみは地元の業者で」、「お酒は全国からの地ビールのみ」という部分を当初から貫いています。

イベントで使用する使い捨てのプラスチックコップの排出量を削減することを目的とした特製グラスの製作・販売や資源の再利用を促進するため、イベント会場内にエコステーションを設置して、来場者へ廃棄物の分別を呼び掛けるなど早くから環境に配慮した継続的な取り組みを行ってきました。



全国の地ビールと地元野菜の  
 手作りおつまみがズラリ

### 4. 活動の広がり

実行委員会の内部組織であるプロジェクト委員会は、市内に事業所を置く酒造メーカー、酒飯店、報道機関、飲食店、J R一関駅、J Aいわて平泉、商工会議所、観光協会などで構成するイベントの実行部隊。

委員が連携して主体的にイベントの内容を検討し、開催までの準備を行っています。

イベントスタッフのアルバイトは、岩手県内の大学や専門学校の学生を

中心に協力をいただいています。

また、ボランティアスタッフは、全国各地から応援に駆け付けており、交流人口の範囲も広がりを見せています。



イベントスタッフはおそろいのTシャツです

## 5. 継続性

飲食を伴うイベントということもあり、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれましたが、コロナ禍でのイベントのあり方を模索・検討し、全国のブルワリーと市内飲食店や酒販店等が連携したスタンプラリーイベントや、オンラインによるLIVE配信など、積極的に新しいイベントの形の構築に取り組みました。

毎年、新たな取り組みを柔軟に実行できるよう体制づくりに取り組んでいます。



スタンプラリーイベント



初の試み LIVE配信

## 6. 地域資源の活用

一関市では、令和元年度に地ビール類を対象に中小企業地域資源活用

促進法に基づく「ふるさと名物応援宣言」を行い、全国地ビールフェスティバルは市が応援するふるさと名物をブランド化に結び付けるイベントとして位置づけ、開催をサポートしています。

また、おつまみの出店については、一関市内の事業者に限定して募集を行っており、食材は、地域内で生産されている特産の夏秋野菜（なす、ピーマン、トマト、きゅうり、ミニトマト）をJAと市の協力により無償提供していただいています。



新鮮野菜のおつまみは大好評！

イベント会場内では、野菜ソムリエと一関市農林部地産地消・外商課による地元農産物のPRをしています。



野菜ソムリエの皆さんによるPR

## 7. 創意工夫

JR一関駅が実行委員会の構成員となって、イベント期間に特別臨時列車が運行され、その際、実行委員会から乗客へのプレゼント企画を実施するなど、市内関係団体との連携を深めています。

公共交通機関（バス）でのCM放送や、首都圏の地下鉄への中張り広告、キャラバン隊を編成してのテレビ出演など、より多くの皆さんにイベントを知ってもらうため広報活動に力を入れてきました。

日本最大級といわれる参加ブルワ

リーの数は、第20回開催では100となり、1つのイベントでより多くの地ビールをお客様に楽しんでもらえるよう、毎年、新たに募集するブルワリーの情報収集や営業活動に取り組んでいます。



個性豊かな地ビール

## 8. 取り組みの成果と展望

一関市の夏を象徴する一大イベントとなり、全国各地から「地ビールの聖地」へ集うファンが多く、市内の交通・宿泊・飲食・観光など、地域経済へ好循環をもたらしています。

取り扱う地ビールの数やイベント自体の楽しさや魅力が集客力を生み、2016年・日経プラス1の「なんでもランキング 行って楽しいおすすめ地ビールフェスティバル」第1位、2020年・日本ビアジャーナリスト協会による「世界に伝えたい日本のビアカルチャー イベント・料飲部門」第2位など、メディアからも注目されるイベントとなりました。



一関の夏を象徴する駅前看板

地ビールファンの皆さんのニーズを探り、お客様の満足度を第一に、関係する全国各地の皆さんとの絆を大切にし、「不易流行」の理念のもと、一関市ならではの地ビールフェスティバルを今後も継続できるように、創意工夫をこらして地域に根差した取り組みを進めていきたいと思っております。